

令和6年度 山形県立米沢東高等学校 学校評価

○ 校訓・教育精神

修 誠

「修誠」を校訓として、次の陶冶に努めることをもって教育精神とする。
◇ 美しい品性 ◇ 高い知性 ◇ 篤い至誠

○ 教育目標

1 主体的に学び、未来を創造できる人を育てる。
2 至誠と責任を重んじ、社会に貢献できる人を育てる。
3 美しい品性を備え、真理と文化を愛する人を育てる。
4 高い知性と健康な身体をもち、自立できる人を育てる。

○ 目指す学校像

1 「修誠」の精神を継承し、人間性を豊かに育む学校
2 自立した学習者として、生徒が主体的に学び、高め合う学校
3 進学型単位制の特色を生かし、一人一人の夢を達成できる学校
4 高い志と広い視野を持ち、地域に貢献する学校

◎特に成果が見られた取組 ○成果が見られた取組 △さらに取り組む必要がある課題					
重点目標		具体的方策	達成状況と今後の課題（自己評価 A:達成／B:概ね達成／C: やや不十分／D: 不十分）	評価	学校関係者評価
1	学力の三要素のバランスがとれた学力およびリーディングスキルの育成	① 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業研究	◎ICT機器を活用した授業と授業内容・評価方法についての教職員間の相互議論 ○授業研究週間等での情報共有と共通認識	A	◎教職員が研修会に参加していること、外部の講師によるものであることがよい。若い先生方だけでなくスキルアップをはかって先生方が学び続ける姿を見せることが大事である。 ○仲間とともに学習することで、雰囲気や安心感が高まり相乗効果起きるものである。入学時の初期指導を大切にし、集団として伸ばして欲しい。 △高校の時に褒められた経験は、一生ものである。たくさん声掛けを。
		② 創造的な授業と主体的な家庭学習の協働による学習効果の創出	◎県のICT教育推進重点校としての研修の実施、授業への還元 △授業と家庭学習のバランス		
		③ 輝く知性や豊かな人間性を磨くための読書の推進	○図書館の環境・蔵書整備 △図書館活用・貸出冊数の増加		
2	自ら判断し行動できる生徒の育成	① 自主的・自律的な生活態度と公共心の育成	◎生徒会執行部を中心とした学校行事への主体的な取り組み ◎生徒全員が楽しめる企画力と行動力	A	◎生徒自身が情報発信に取り組んでいる姿を高く評価したい。達成感をえられるだけでなく今後のさらなる成長が期待できる。 △いじめ予防(コンセンサスの醸成)をぜひ行ってほしい。自分発信が上手な生徒に。話す力をつけてほしい。 △校歌に誇りをもって歌えるようにしてほしい。
		② 自他を尊重し、お互いが高め合う集団づくり	◎組織のないじめ防止 ○校内生活状況調査による問題点の把握 ○チーム体制での個・全体に応じた指導		
		③ 自治的・創造的な生徒会活動と自発的・自律的な部活動の推進	○生徒の自主的な部活動運営 △スマートフォン使用やSNS利用に関わるトラブル防止 △自転車乗車時のヘルメット着用		
3	これからを生きぬく力をつける探究型学習とキャリア教育の推進	① 探究型学習の推進による、思考力・判断力・表現力等の育成	○「指導の手引き」、一人一台端末等を活用した円滑な活動展開 △グローバルで未解決の現代的課題に挑む態度の育成	B	○探究学習を見学したが充実していた。良い指導が行き届いていると感じた。 ○フードバンクの活動が表彰されたことで、社会活動に光があたったことは喜ばしい。本当に必要な場所に届いているか追跡も必要。 △ボランティアについて勉強してはいかがか。無償性、公共性、先駆性、自発性の4つの観点がある。
		② 総合的な探究の時間における、課題探究学習(i-Seeプロジェクト)の充実・発展	○3年間を見据えたi-Seeプロジェクト活動 △探究活動時間のバランス調整 ◎外部機関との連携と人材バンク登録者の拡大		
		③ 高い志を涵養し、個性を伸ばすキャリア教育の推進	◎推薦型・総合選抜型入試の積極的活用 ○生徒・保護者への進路情報発信 △新課程完成年入試の対応策の検討		
4	健康で安全な学校生活の向上	① 健康・安全に関する正しい理解と自己管理能力の育成	◎自転車乗車マナーの向上、交通安全意識の高揚 ◎保健講話や薬物乱用防止講話、スマホ安全教室	B	◎いじめの早期発見・早期対応が行われており、カウンセラーによる相談を含め一人一人に寄り添ったきめ細かな支援がなされている。 △記録的な大雪で大変危険な状況だったのではないかと。周囲の除雪をしっかりと(自治体への要望も含めて)し、安全を確保しなければならない。 △卒業生は地域に貢献・活躍している。在校生はどうか。真面目だけでなく、聞く力・発信力を育ててほしい。
		② 「いのち」の教育の推進と教育相談の充実	◎スクールカウンセラーによる相談の活用 ○精神衛生指導委員会による協働体制での対応 △思春期における心理的バックアップ体制の構築と相談しやすい雰囲気づくり ○外部機関との連携による支援		
		③ 教育環境の整備と危機管理・防災体制の充実	◎校内の危険箇所等の迅速な修繕 ◎引率なしでの避難訓練の実施 △校舎老朽化に伴う修繕整備		
5	外部との連携及び働き方改革の推進による活力あふれる学校づくり	① 国際協力、地域貢献・地域づくり活動、校外活動等への積極的参加	◎地域行事・中部コミセン活動への協力 ◎フードドライブの表彰 △生徒会・部活動単位のボランティア参加者の増加	A	△米東生はおとなしい、まじめという印象だが、それでよいのか。様々な取り組みに自信をもってPRを。 ◎高倍率となり、地域での注目度が高まってよろこばしい傾向である。SNS等で継続して発信をしてほしい。
		② HP等による情報発信・広報活動の充実と、さくら連絡網等による効率的で確実な連絡	◎SNS(Instagram、YouTube)の積極的な活用と閲覧数増加 ◎生徒の「魅力発信チーム」によるSNS投稿と積極性向上 ○さくら連絡網による災害時連絡と情報発信		
		③ 保護者の理解・協力を仰いだ、教職員の「働き方改革」の推進	◎留守番電話の活用とさくら連絡網による時間外連絡受付 △情報ツールの整理		

総合評価

◎県のICT教育推進重点校として教職員の研修を実施、授業への還元をはかり、魅力ある学校教育の推進に努めた。
○i-Seeプロジェクトでは主体的に地域施設と連絡を取り、インタビューやアンケートに出向いて交流を進めた。
○引き続き熱中症対策をとり、授業や学校行事の充実を保った。
◎部活動は任意加入制に移行した中で高い加入率を保ち、かつ主体的・積極的な活動となって各種大会で優秀な成績を収めた。フェンシング部、弓道部、水泳種目の全国・東北大会出場、書道部の全国高等学校総合文化祭出場権獲得、音楽部吹奏楽班の5年連続県大会金賞など。
◎オープンスクールは過去最多の参加者数となり、体験型の講座は中学生に好評であった。前期入試特色選抜の先行実施校・初年度であることから丁寧な説明・対応に努め、中学生が不安なく実力を発揮できるよう尽力した。
◎学校評価アンケートにおいて、「私の学校生活は充実している」との生徒の高い評価、肯定感をもって卒業できることは喜ばしい。生徒ひとりひとりの生き生きした行動力と積極性をさらに支援し、実り多い3年間となるよう今後より一層努力しなければならない。

【生徒評価】
「i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取組んでいる。」
80% 82% 85% 87% 89% 94% 94% 93% 95% 92%
平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度